

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

令和2年度 生徒会宣言

校長 香西 雅斗

激動の令和2年も暮れを迎え、科学と自然の散歩みちでは、冷たい風の中、サザンカの花が咲いています。冬至を過ぎ、陽が少しずつ伸び春に向かう“一陽来復”の季節になりました。その言葉の意味の様に“悪いことが去ってよいことが訪れ始める”ことを願っています。

臨時休校の影響で、生徒会活動の暦も1か月遅くなり、12月11日（金）に生徒総会が行われました。総会の締めくくりの生徒会長による生徒会宣言を紹介します。

『和の中での自立』

生徒会長 西山 明里

今年は長期休校から始まり、先生や友達、先輩後輩と触れ合う事がなかなかできませんでした。しかし最近では班や学級での活動が増え、笑顔も増え、学校の意義を実感しています。

私たちはコロナ禍でも、体育大会、音楽発表会を行う事ができ、新しいルール、生活を、自分達の手で工夫し、今を楽しむ事ができました。今年度の目標である『自立』とは、自分たちで立つ、つまり自分の意志で考え行動する事です。

“十五にして学に志し、三十にして立つ（論語）”という様に、私たちはまだ教育を受け、自立の準備をしている段階です。自立は簡単ではなく、疲れてしまう時もあると思います。「なんで今年に限ってこんなに大変なんだ」と言いたくなることもあると思います。そんな時、仲間に励まされ、ただ共感してもらえただけで、「明日も頑張ろう」と思えるのかもしれませんが、仲間と触れ合う事の有難さを感じるのではないのでしょうか。

つまり『自立』とは、孤立ではなく、和の中で育むものなのです。自分という存在に自信をもち、やりたいこと、楽しいことを深めることができるのは、仲間のおかげでもあります。自分の個性を発揮しつつ、違う個性の生徒、先生と、日々笑い合える、そんな中瀬中であってほしいと、私は思います。

そのために、様々な角度から一人一人を生かすアプローチをし、様々な所に私たち生徒が活躍できる場を増やしていこうと考えています。

生徒全員が仲間となり、「私は中瀬中生だ」と誇りをもって行動し、私たちの中瀬中学校を創っていきましょう。そして、何度でも泣いて笑って、仲間と触れ合い、成長し、社会に羽ばたいていきましょう。

「地域の方に、あって良かった、と思われる中瀬中（H29 小池 美樹）」、「自ら考え、自ら学び、自ら行動する中瀬中生（H30 椿 右京）」、「規律ある自由～新たな中瀬へ～（R1 金澤 侑生）」を引き継ぐ、格調高い宣言でした。

生徒総会での質問からは、コロナ禍で窮屈な生活をしている生徒の思いが伝わってきました。その中に「昼休みを長くしてほしい」という声もありましたが、残念ですが委員会などの生徒の活動時間の確保（2・3年生が水曜も6時間授業）のため、対応が難しいのが現実です。

そんな中、生徒会役員は三年生の前生徒会役員たちとともに『自分たちの学校を、自分たちで作る、土台づくりプロジェクト』の話し合いを重ね、12月3日（木）には、組別縦割りで分散した形ですが、全校生徒でグループワークを行いました。今回の生徒総会は、このプロジェクトの現時点でのまとめの意味ももっていました。（次からのページで紹介します）

『自分たちの学校を、自分たちで作る、土台づくりプロジェクト』

10月23日(金)の放課後「生徒が校則やルールを考え、自由で規律ある中瀬中学校にしていきたい」という3年生の生徒会役員の願いを実現するための取組が、新生徒会役員と一緒にスタートしました。

話し合いはこの日を合わせて5回行われ、“アクティブ・ラーナーズ”の山ノ内さん、米元さんにサポートしていただき、取組のゴールや目的から議論を重ね、4回目の11月19日(木)には、生活指導部の先生たちと話し合う機会ももちました。その中で生徒会役員たちが考えたのは



< 考えている生徒会役員達 >



< 先生とも懇談しました >

○『ルールを考える』ためには『自分たちが目指す中瀬中生の姿(理想の生徒像)を明確にすること』が必要。その土台の上に『自分や学校のことを考え、理想の実現のための決まり』を作っていく。

ことでした。そして全校生徒の思いを取り入れるため、12月3日(木)に1時間ずつ、学年を越えて組ごとに分かれ、体育館でグループワークを行いました。まず生徒会役員の初めの挨拶を紹介します。

【村上さん(1A)、堀内君(2B)、住川さん(3C)、國分君(2D)が挨拶しました】

<p>『自分たちの学校を、自分たちで作る、土台づくりプロジェクト』を行う理由は、“学校にくせせられる生徒”から“生徒がくする学校”にレベルアップしていきたいからです。</p> <p>このプロジェクトのゴールは、中瀬中に関わる、私達の家族・学校関係者・後輩である小学生・地域の皆さんに、中瀬中の魅力を発信し、理解していただき、私たち自身も、卒業後も誇りに思う学校にすることです。</p> <p>生徒会役員会では、このプロジェクトを進めるにあたり、生徒全員で「中瀬中らしさ」「理想の生徒像」を一緒に考え、作り上げていくことからスタートしようと考えました。</p> <p>ぜひ、みなさん一人一人の思う「理想の生徒像」を聞かせてください。アイデアは単語だけでも、インスピレーションの端っこだけでも構いません。</p> <p>○どんな生徒像が、自分たちにとって誇りに思えるのか</p> <p>○学校生活の中で、なじみやすく分かりやすいのは、どんな生徒像か</p> <p>○卒業しても自慢に思える生徒像とは、どのようなものか。</p> <p>どんな小さな意見でもいいので、提案していただきたいです。多様な意見の中から、きっと豊かな理想像が生まれると思います。どんどん話し合いを重ね、変化を恐れず、積極的に改良を重ね、今の時代にあった『中瀬中生らしさ』を膨らませていきましょう。</p> <p>学校の主役は、私たち生徒一人一人です。学校を動かすのは自分だという意識を強くもち、まず、理想の生徒像をみんなで作り上げます。</p> <p>そして中瀬中生みんなで目指す方向を共有し、それを基盤に、新校舎にふさわしい</p> <p>『中瀬中らしさ、中瀬中の魅力が発揮できる、理想の中瀬中生になるためのルール・校則』を生徒みんなで作っていきましょう。</p>	<p>「自分たちの学校を、自分たちで作る、土台づくりプロジェクト」を行う理由は、“学校にくせせられる生徒”から“生徒がくする学校”にレベルアップしていきたいからです。</p> <p>このプロジェクトのゴールは、中瀬中に関わる、私達の家族・学校関係者・後輩である小学生・地域の皆さんに、中瀬中の魅力を発信し、理解していただき、私たち自身も、卒業後も誇りに思う学校にすることです。</p> <p>生徒会役員会では、このプロジェクトを進めるにあたり、生徒全員で「中瀬中らしさ」「理想の生徒像」を一緒に考え、作り上げていくことからスタートしようと考えました。</p> <p>ぜひ、みなさん一人一人の思う「理想の生徒像」を聞かせてください。アイデアは単語だけでも、インスピレーションの端っこだけでも構いません。</p> <p>○どんな生徒像が、自分たちにとって誇りに思えるのか</p> <p>○学校生活の中で、なじみやすく分かりやすいのは、どんな生徒像か</p> <p>○卒業しても自慢に思える生徒像とは、どのようなものか。</p> <p>どんな小さな意見でもいいので、提案していただきたいです。多様な意見の中から、きっと豊かな理想像が生まれると思います。どんどん話し合いを重ね、変化を恐れず、積極的に改良を重ね、今の時代にあった『中瀬中生らしさ』を膨らませていきましょう。</p> <p>学校の主役は、私たち生徒一人一人です。学校を動かすのは自分だという意識を強くもち、まず、理想の生徒像をみんなで作り上げます。</p> <p>そして中瀬中生みんなで目指す方向を共有し、それを基盤に、新校舎にふさわしい</p> <p>『中瀬中らしさ、中瀬中の魅力が発揮できる、理想の中瀬中生になるためのルール・校則』を生徒みんなで作っていきましょう。</p>
---	---



< 生徒会役員 初めの挨拶 >

< 参考 > 3年生の学校アンケートより「新しい中瀬中にふさわしい生徒(理想の生徒像)」

<p>(39人)「<u>自ら考え行動する生徒</u>」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分からやるべきことを見つける生徒 ・自分から進んで動ける自立した生徒 ・「させられる」ではなく「自分からする」生徒 ・人のことを考え、中瀬中に貢献する生徒 ・物事の本質を考えることができる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことだけでなく他人のことを考えられる生徒 ・周りの人と協力し、人のことを考えて行動する生徒 ・自分の意志で行動する生徒 ・学び、探求し、考え議論し実践する生徒 ・周りに流されず、自分の意見をはっきり言える生徒 ・自分から学び考え行動する生徒 など
<p>(20人)「<u>ルールを守り思いやりのある生徒</u>」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守りいじめをしない生徒 ・ルールを守り楽しく生活する生徒 ・決まりを守り、行事を楽しむ生徒 ・規則をしっかり守る生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりを守り、真面目さがあって、メリハリをつけられる生徒 ・規則を守り誰とでも仲良くできる生徒 ・ルールを守り、自分から行動する生徒 ・ルールを守るなど学校を変えていくのに必要なことできる生徒 ・ルールを守り、ルールを作る生徒 など

(その他)

- ・優しく、賢く、たくましい生徒
- ・自然環境を大切にする生徒
- ・人の不幸を悲しみ、幸せを喜ぶ生徒
- ・行事をしっかりと取り組み、伝統を引き継ぐ生徒
- ・失敗をしたら反省できる生徒

- ・素直に善意をもって行動できる生徒
- ・物事の本質を考えることができる生徒
- ・自由をはき違えず、積極的に学校をより良くする生徒
- ・様々なことにチャレンジする生徒
- ・問題に対し恥ずかしがらずに自分から意見をいい、改善しようという意欲を見せる生徒 など

学年を越えたグループワークは、中瀬中学校のたくさんある特色の一つです。今年はコロナ禍で、1年生にとっては初めての体験でした。その様子を、1Dの学級通信から紹介します。



<今年度初めての学年を越えたグループワーク>

<p>：部活以外で上級生と話す事がなかったのが緊張した。でも三年生が、固まった空気をほぐしてくれて、いろいろな意見が言えて、とても良い話し合いになったと思う。</p> <p>「自分たちの学校を自分たちで作る」ことを、学校全体で話し合え、とても楽しかった。</p>	<p>：一、二年生で話す機会が無い中、貴重な時間だった。</p> <p>：これからの中瀬中学校を私達で作っていく話し合いと思うと、未来に貢献している、そして学校にも自分にも役に立っていると思う。</p>	<p>：難しくあまり発言できなかったが、先輩は恥ずかしがらず、大きな声で自分の意見を言っていて、すごいと思った。僕も先輩の様になりたい。</p>	<p>：短い内容の濃い時間となった。三年生が言っていた中瀬中の未来は、三年間、中瀬中で過ごしてきたからこそ、理想像だった。</p> <p>：遠くない未来、それは必ず実現できるし、自分も努力したいと思えた。</p>
<p>：初めて会う先輩だったけど班を和やかな雰囲気にしてくれて話しやすく、三年生はさすがだと思いました。</p>	<p>：上級生の様々な意見を聞けて良かった。あまり発言できずにいたけれど、隣の先輩が「つまらないことでもいいから言ってみなよ」と声をかけてくれ、残りの時間、勇気を出して頑張って発言しました。</p>	<p>：学年がバラバラだったが、みんなと意見交換ができ、とても楽しかった。三年生が、話を最後まで聞いてくれたり、まとめたりと、僕たちをリードしてくれて、とても良かった。</p>	<p>：グループワークを通し、高め合う大切さ、助け合い支え合う大切さを感じた。すごく楽しい話し合いができた。</p>
<p>：上級生がリードしてくれて、グループとして良いまとまりができた。次は自分が一年生をリードすることになるので、その時、積極的に恥ずかしがらず発言したい。また、今回の課題に沿って、深く考えることができ良かった。</p>			

グループワークの後、全員のワークシートを読んだ金澤会長の、プロジェクトの**中間報告**です。

生徒総会での前生徒会長よりの呼びかけ

金澤 侑生

先日の“土台づくりプロジェクト”では、たくさんの意見を出していただきました。本来なら、もっと皆さんとやり取りをして、僕ら三年生の代で“土台”を完成させ、皆さんに引き継ぎたかったのですが、コロナの影響によりできませんでした。ですが、この状況でここまで進めることができたのは、皆さんの努力のおかげだと思います。本当にありがとうございます。

皆さんが出してくれたアイデアを読み感じたのは、私たちの考えた3つの案を軸にして、学校の未来、そして自分の未来と向き合った思考の足跡でした。全員が同じものを相手にして、一つの方向を向いた、今回の活動が、今後の中瀬中が変わるための、良い一歩になったと思います。

ここ数年の中瀬の指針に『自由』という言葉がよく出てきます。70周年の式典での先輩の言葉に、こんな一節がありました。

「自由の中にも規律があり、笑顔があふれる学校である様、一人一人が意識をして行動していきたい。」また、先日の“理想の生徒像”のアンケートにも、現在の三年生から「自ら考え、自分の意志で行動する生徒」や「ルールを守り、ルールを自ら作っていく生徒」「人を思いやることのできる生徒」などがありました。

今の三年生、そして先輩たちは『自治と自由』を夢見てきました。そしてそれを一・二年生の皆さんに受け継いでほしいと思っています。もちろん、それを目指していくのは並大抵の事ではありません。でもそれを手に入れた先には、無限大の可能性が広がっています。

残念ながら三年生は、その時、中瀬中にいることはできません。ですが、皆さんが作った中瀬がより良いものになるよう願っています。大変な時代ですが、これからの中瀬をよろしく願います。

最後に三年生。これから進路に向けて、それぞれ道を切り拓いていくこととなりますが、僕たちは卒業まで中瀬中の最上級生です。誇りを自覚し、誇りをもって、後に続く後輩に最後まで勇姿を見せましょう。

第20回 杉並駅伝(12/13) 男子2連覇 女子4位と大健闘



＜女子キャプテン
住川さん＞

11月から体育授業で取り組んだ12分間走の結果をもとに選手を選考し、そこから約3週間に渡る駅伝強化練習がありました。今年度はチームの目標を男子は優勝・女子3位以内と定め、メンバー全員で競い合いながらチーム力を高めてきました。(↓丸数字は学年)

結果は、女子(古田① 今里① 住川③ 猪熊② 岩下②)は昨年度と同じく第4位でフィニッシュ。男子(堀川③ 小山② 太田③ 浦村③ 齋藤③)は1区から首位に立ち、そのままトップでフィニッシュし、他を圧倒する王者の走りで2連覇達成(1~4区で区間賞)。

サポート役に徹した駅伝メンバー、当日駆けつけた陸上部員、そして12分間走でお互いに応援し合った生徒全員の絆が輝きました。



＜男子キャプテン
堀川君＞

スキー教室中止・時差登校再開

中瀬中の生徒たちが学び成長する良い機会だった冬季移動教室が、区内全中学校で中止となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮すると、本当に残念ですがやむをえないと思います。

感染者数だけでなく、重症の方の人数や病院のベッドの空きも、危険な水準(コロナに限らず必要な治療を受けられない人がでてくる)に近づいている状況で、杉並区教育委員会では対応マニュアルを改訂しました。これまでに加えて、**登下校時もマスク着用、体育などの運動時は基本マスク着用、マスクをしていても大声を出さないし密にもならない、手洗いと換気の徹底**などが示されています。

中瀬中ではこれまでも「**自分が感染しているかもしれないことを前提に、人にうつさないよう行動する**」ことを行ってきましたが、「密閉・密集・密接」をより避けるため、「**学年間15分の時差登校**」とそれに伴う「**教室配置の変更(休み時間、密にならないため)**」を以下の様に行います(9月までの時差登校を基本にしています)。感染症拡大の状況によりますが、時差登校は2月1日(金)までは続けます。

自分が感染しないこととともに、**感染が広がる確率をできるだけ下げることは**、今まで以上に重要です。自分と家族と周囲の人の「安全」を第一に考え、行動しましょう。

改訂：時程表と教室配置(令和3年1月～)

時限	1年	2年	3年	教室配置
教室着席	8:55	8:40	8:25	＜東 西＞
1校時	9:05～9:55	8:50～9:40	8:35～9:25	4F: 2D 1D 3D 2A
2校時	10:05～10:55	9:50～10:40	9:35～10:25	← → → →
3校時	11:05～11:55	10:50～11:40	10:35～11:25	3F: 1A 3A 2B 1B 3B
4校時	12:05～12:55	11:50～12:40	11:35～12:25	← ← → → →
給食 (30分)	12:55～13:25	12:40～13:10	12:25～12:55	2F: *職* 2C 1C 3C
予鈴	13:35	13:20	13:05	← → →
5校時	13:40～14:30	13:25～14:15	13:10～14:00	密を避けるため、休み時間は 矢印方向のトイレ を使う。
6校時	14:40～15:30	14:25～15:15	14:10～15:00	

※ 水曜日は、1年生・2年生(スキー教室中止のため)は5時間授業

※チャイムは鳴りません